



# ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2026年3月1日

# 3月

 289号

## 奈良・人と自然の会



昼下がり、ならやまの恵みが並びました。



## Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



ならやまプロジェクト	1	きょうみ森森	8
Monthly Repo ならやま	2	ならやま投句箱	9
里山の今 (パトロールG、果樹G)	3	やさしい病害虫講座 59(サンゴジュの病害虫)	10
佐保川小学校学習支援レポ	4	仲間入りしました、行事案内	11
我が家にキツネがやってきた	5	行事案内	12
海外ボランティア体験記 (パナマ-2)	6	幹事会報告、こもれび	13
世界一周無帰国3年間の旅 ①	7		

# ならやまプロジェクト

**明るく・楽しく・無理をせず  
あなたも私も・力合わせて**

三寒四温、今の季節をよく表している。暖かな小春日和と木枯らしの吹く厳寒の日が交互にやってくる。寒い時期を経てようやく目覚めた木々たちが花を咲かせ始めている。ベースキャンプの南高梅がもうすぐ満開になる。ならやまの息づく季節が近づく。

もうすぐ冷えた体を温めてくれた豚汁とも秋までお別れだ。

♪ は～るよこい は～やくこい ♪



実りの森の紅梅・白梅 2月5日

**3月の活動特記事項** 活動日：5（木）、12（木）、19（木）、26（木）

3月5日（木）：協働活動（椎茸菌打ち、アダプトプログラム）

## 3月の各グループ活動予定

グループ	活動予定
里山	楢木移動・楢場整備、枝葉の処理、里山林内整備 自然の森梯子階段更新、薪割り
エコファーム	春野菜の種蒔き、夏野菜畑の準備、野菜の収穫 水田の整備、鹿害予防ネットの整備
景観	整備：竹林整備、チップ処理 ビオ：池・水路の景観保全・整備、タナゴ生育状況定期調査 花： 道路沿い花壇・山野草園の草引き
パトロール	1～3コースパトロール、観察路整備、丸太階段補修 自然の森梯子階段更新、案内表示板取り付け、春の観察会準備
果樹	柑橘類の剪定、実りの森土壌改良 果樹の畝作り

**活動日：毎週木曜日 9：00～15：00**

前日の17時発表の気象庁予報（NHKTV（奈良）19時前放送）の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率60%以上の場合は翌日に順延、翌日も同予報であれば中止。



# Monthly Repo. **ならやま**

富井 忠雄

1月22日(木) 晴れ 56名

+3名+近大生2名

午後、ならやま委員会を行う。生駒の自然環境保全協会奈良3名が来訪、フィールドを案内。

里山GはNo.4区画のコナラ玉切り、枯れた松の搬出、薪割り。エコGは畑に石灰牛糞などの施肥、水田への真砂土入れ、白菜、ネギ、シイタケなどの収穫。景観GはBC西側の竹林整備。花班はアジサイ園の寒肥やり。ビオ班は近畿大学と田貝調査、西池横の小屋の修理用の竹の切り出し。パトロールGは観察路の谷筋の倒木処理、観察路3コースのパトロール、階段の設置と修理。果樹GはBCの梅の剪定など。

1月29日(木) 晴れ 62名

来期の幹事の推薦を重ねて依頼。

里山Gは椎茸イベントの準備、No.4区画のコナラ薪玉の搬出、椎茸椀木の準備。エコGは大根、白菜など収穫、鹿害予防ネット補修など。景観Gは竹林整備、チップパー作業など。花班は第2駐車場横の花壇の草引き。ビオ班は西池横の小屋の修理、ビオエリアの樹木の剪定。パトロールGは観察路1コースのパトロール、104



ピーク下の階段整備、竹杭作りなど。果樹GはBC横の梅の剪定、鹿除けフェンスの修理など。

2月5日(木) 晴れ 75名

協働活動として植樹用約40箇所の穴掘りとアダプトプログラム実施。チップパー機部品損傷。

里山GはNo.5区画の植樹用穴掘り、No.4区画のコナラの玉切り、枝葉のチップパー処理。

エコGは大根、ネギ、人参などの収穫、ソラマメなどの植え付け、鹿ネットの準備。景観GはBC西側の竹林整備。花班は駐車場横の花壇の草引き。ビオ班は西池横の小屋の修理、ビオエリアの樹木の剪定。パトロールGは観察路2コースのパトロール、緑陰広場テント周りの整備、



観察路の丸太階段の設置。果樹GはBC横、実りの森の梅の剪定など。

2月12日(木) 晴れ 70名

協働活動として、果樹G、エコGが使用する落葉集めを行う。椎茸イベント打合せ実施。

里山Gは椀木、薪玉の集積と運搬、枝葉の片付け、薪割り。エコGは大根、白菜などの収穫、鹿害予防ネットの準備と補修、落葉を集めてチップ置き場へ運搬。景観Gは竹林の整備。花班は第一駐車場横の花壇の草引き。ビオ班はBCの植木の剪定、西池水路の泥上げ補修。パトロールGは観察路3コースのパトロール、丸太階段補修、銘板製作と取り付け。果樹Gは落葉集めと整理、コンポストへ投入。

2月19日(木) 晴れ 68名+1名+近大生3名

ひな人形造りについて鈴木さんより説明。見学者1名来訪。

里山Gは椎茸イベントの準備、枝葉の片付け、薪割り。エコGは白菜、大根などの収穫、ジャガイモ畑の準備。景観Gは四季の丘東側およびBC横の竹林整備。花班は第2駐車場横の花壇の草引き。ビオ班は近畿大学と田貝の定期調査、西池北側湿地の補修。パトロールGは観察路1コースのパトロール、案内板製作、丸太階段資材運搬。果樹Gは新田さんの講習会、寒肥の施肥など。

パトロールグループ

冬枯れの里山

小島 武雄

BC の大きな柿の木には、いつもの群れなすメジロが今年は来ていません。青空いっぱいには赤い干し柿が残っています。また、手入れされた梅林の枝には、沢山の白い花。

サイクリングロード沿いには、移植して育てていた蠟梅に花がやっと一輪咲きました。

冬枯れのならやまは、けっして荒涼な景色ではありません。



一面のクヌギやコナラの落ち葉をサクサク踏み締めて観察路を歩きます。草刈機講習で、実力をつけた女性会員のおかげで、丁寧に除草された気持ちの良い道を歩んでいます。

みんなで手作りした観察路の案内板も分かりやすくなっています。樹木銘板も数多く掛けられてよくわかるようになっています。冬は地面にまでいっぱい光が差し込み、木漏れ日がとても美しい。

春に向けて、準備している樹木の冬芽が少し大きくなってきています。

機関車広場では、まるで貨車を引っ張っているように、柵木が積まれていました。シタケ菌打ちと植樹イベントのあと、春まであと少し。



果樹グループ

果樹グループの概要

有元 康人



果樹グループの人数は、令和8年2月現在16名が在籍していますが、病氣療養中の方が2名います。

『V字回復で早期の現場復帰を心待ちしています』頑張ってください。

果樹園作りの目標は、醗酵鶏糞、土壌改良剤の牛糞、コンポストなどで有機肥料中心の果物作りを行っています。

さらに微生物の力で病気に強い果樹園作りを目指しています。それでもカイガラムシが原因のスス病、害虫のヨコバイなど手強い病気や虫が出てきます。その対策のため、外部講師を招いて月1回の講習会を行い、基本的な果樹作り（剪定方法・肥料の施し方・病気への対応）などを学び、徐々にスキルアップをしています。

今年度から、新しくレモンの収穫が始まり、来年度は、アンズ、スモモ、カミキリ虫対策を行ったイチジクの復活やミカンも収穫ができそうです。ほのぼのの市場に活気が出てくることを期待しています。

果樹の苗も少しずつ成長し、梅やスモモ、アンズの花など3月から5月にかけて見頃になります。それに伴い収穫量も伸びてくれることを期待しています。



果樹グループでは、個々の体力に合わせた仕事量で楽しく活動ができるよう組み立てたいと思っています。

果樹の講習会や収穫の時期には朝礼で声を掛けますので、一緒に活動しましょう。

## 佐保川小学校学習支援レポ

佐保川小学校学習支援（寒い冬に木々たちは）

小島 武雄

1月26日（月）朝9時45分、佐保川小学校校庭にスタッフ5名が集まりました。

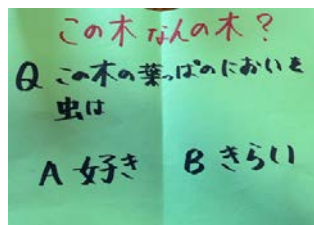
とても寒い日です。薄曇りで気温は6度、校庭では先生のピーツという笛に合わせて、子どもたちがランニングの最中です。元気いっぱい寒そうではありません。

今日の学習支援は今年度の最後です。春、秋に続いて3回目は冬です。樹木16本に番号札を取り付けてクイズや、写真、ドングリなどの入ったファイルを木の根元に置いて準備完了。

子どもたちが、元気に校庭に出て来ました。今回は2クラス、3時限と4時限の4年生それぞれ36名で3班に分かれます。最初の挨拶で、今日は寒さに備えた「冬芽」を見に行きます。わかりやすく「ふゆめ」と平仮名で書いたのですが、「とうが」だと言う声も聞こえます。事前に各クラスにタラヨウの葉書に140円切手を貼って郵送しておきました。「はがき着きましたか？」の問いかけに。「来たよー」の元気な声が上がりました。



(タラヨウの葉書)



(木のクイズ)

班ごとに樹木観察に向かいます。クスノキの前では、赤い冬芽を見ながらクイズです。「この木の葉っぱは、虫は好きですか？ はい↔いいえ、どっち？」秋に話した、樟腦の匂いを思いだして、みんな正解です。次に、ハナミズキの丸い冬芽を見ながら、この木がアメリカから来たのも覚えてくれていました。クヌギ、コナラ、アラカシなどのドングリは、大人気です。落ち

たドングリを集めて手に一杯にして見せに来る子ども。イロハモミジの所では、種が風に乗ってクルクル回りながら飛ぶのを見せて、みんなでやってみます。野草が冬の寒さに耐えて春を待つ、いろいろな形のロゼットもありました。



(クヌギの観察)



(野草のロゼット)

最後に、フタバガキの種に似せて色紙で作った模型を輪ゴムの力で、空へ思いっきり飛ばします。なかなかうまくいきませんが、コツをつかんでからは夢中で校庭を走り回ります。



(種の模型飛ばし)

先生の笛で終了。最後に代表の子が前に出てきて「いろいろな木の事を、たくさん教えてくれてありがとうございました」とお礼の言葉がありました。こちら「また来るよー！ 待っててねー」みんなパチパチ。今日もいっぱい元気もらいました。

## 我が家にキツネがやってきた

中川 徹

今年の1月に自宅の庭を覗き込むキツネに出会いました。最初は犬かと思いましたが、大きな耳とふさふさした尻尾は紛れもなくキツネでした。



イヌ科に属するキツネは日本では本州に生息するホンドキツネと北海道にいるキタキツネに分類されますが、世界中に分布するアカキツネの仲間です。体長は50~60cm、体重5~6kgの小動物です。

奈良の現在の自宅に転居して30数年になりますが、キツネを遠くに見かけたのは2、3回だけです。タヌキやイタチはよく出会いますがキツネは出会いがありません。

警戒心が強く用心深くて人を見かけると姿を隠すのです。それが、数か月前の夕方に、実りの森近くで、キツネらしき動物を見かけました。

近所の人から朝の散歩中に佐保自然の森で佇む姿を目撃したと聞きました。そんな時に、自宅で間近に観察でき感激でした。

キツネは繁殖期以外は単独行動で広い縄張り圏を持ちます。どうやら我々が活動しているならやまに1頭のキツネが生息しているようです。

本来は肉食性の動物でネズミ、鳥類、昆虫類を食べているが、食料がすくなくなる季節では果実も食べます。

人に飼育されると、10年ぐらいの寿命ですが、自然界では2~3年と短命です。

キツネが住宅街の我が家に来たのは、隣は雑木林というだけではなく、庭で飼育しているニワトリが目的であると思います。

2年ほど前に故郷の尾道から5羽のニワトリを譲り受け大切に育てていましたが、最後の1羽になっています。



2羽は自然死でしたが、2羽は事故死、外敵の侵入者、ネコかイタチが犯人と考えていましたが、キツネだった可能性ありです。

早朝、4時頃にニワトリの叫び声で飛び起き駆け付けたのですが、犯行後でした。

キツネに出会った次の日からニワトリを守るガードを固める工事をはじめました。庭の柵を高くし、侵入を防ぐ工夫をしています。



賢いキツネです。美味しい餌がある場所を覚えています。必ずやって来ると思っています。

よくなれたミミズが好物で、時々卵を産んでくれる烏骨鶏を守るために2階の寝室を鳥小屋の横の1階の部屋に移動することを考えています。

海外ボランティア体験記

パナマ-2(2003.4~2005.3)

木村 裕

パナマに到着後、JICA 事務所が準備してくれたアパートホテルに滞在し、活動に向けてのもろもろの手続きを受けました。日本を出発し、パナマの赴任先で活動を始めるまでの詳細行程については後日。

アパートホテルは日本のウイークリーマンションに相当しますが、広さや設備では比べられないほど充実していました。広さは日本の我が家よりも広いかも？

寝室にはダブルベッドが2つと鏡台、居間にはソファ2つと低いテーブル、脚の高いテーブルとイス6脚、電話台、台所にはガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジ、流し台、コーヒーマーカー、ジューサー、洗濯機、乾燥機、食器・鍋一式、その他トイレ兼シャワー兼洗面室。市の中心街にあり、朝食付きで、掃除も毎日してくれ、安全面でも万全。しかも利用料金は日本のウイークリーマンションとほぼ同じくらいですので、パナマ市内勤務のボランティアの中にはそのまま住処とする人もいたようです。

当時のシニアボランティアの現地手当は、月2000ドル程度でしたので、ボランティアの多くは車を購入して通勤等に活用。2年間の使用ですので帰国時には半値で売却できました。

パナマの首都はパナマシティで、新市街と旧市街からなり、新市街では、数十階のビルがたくさんそびえ立っていて、遠目にはニューヨークにある摩天楼の小型版のようで、発展途上国とはとても思えない様相です。これらは主としてオフィスビル、ホテル、高級マンションで外観や入り口は立派なものです。

しかし、一歩街路に出てみると、道路の舗装はまあまあですが、歩道はがたがたで、舗装されていないところも多いようです。雨が降るとどうなるのでしょうか？ 話しによると道路が水びたしになるとのことです。また、新市街の外れには大きなショッピング



センターもあり、その周りには綺麗なレストランや商店、スーパーも並んでいて賑やかです。昔からの風習でセントロ(中心街)では日曜日にはすべて店が閉まりますが、このみは営業しています。

一方、旧市街はスペイン人が移住した当時の建物が狭い道の両側に並んでいます。外観をみているとそれなりに趣がありますが、じっくり観察すると、屋根は抜け落ち、ドアはぼろぼろ、貧しい人たちの住宅街(スラム街)になっています。昼間でも治安が悪いので近寄らないようにと注意を受けています。

私たちボランティアが仮住まいしていた中心街で



は、服飾関係のきれいな店がいっぱい並んでいます。また、レストラン、文房具、電気器具、インターネット関係の店もあります。一方、歩道上では台を置いて、携帯電話、電話ケース、装飾品、モラ手芸を並べている青空の店もあります。



## 世界一周無帰国3年間の旅 ①

1989年3月 岩月 淳

### 夢の原点

～ヒーローへの憧れが  
世界一周の冒険へと変わるまで～

幼いころからウルトラマンやアニメのヒーローに心を奪われ、「いつか自分も、人々や社会の役に立てるヒーローのような人間になりたい」と夢見て育った。

そんな少年時代、父から教わった言葉が今も心に残っている。

「死をもって制す」——。困難に直面してどうにもならない時こそ、死ぬ覚悟で挑めば、たいのことは乗り越えられる。

それが父の信条であり、私にとって人生の支柱となる言葉だった。



父親と幼い頃の岩月さん

父はまた、夜になると「ロビンソン・クルーソー漂流記」を枕元で朗読してくれた。孤島で生き抜くロビンソンの姿に、

私は心を躍らせ、冒険への憧れを膨らませた。

それはいつしか、私自身の「人生をかけた冒険をしてみたい」という強い思いへと変わっていった。

高校入学と同時に、憧れだった極真会館の門を叩いた。

「男子たるもの、まず強くあれ」——その思いで心と体を鍛える日々が始まった。

一方、アルバイトではウルトラマンショーに出演し、汗だくになりながら子どもたちの前で夢を演じた。その姿は、かつての自分への原点



ウルトラマンを演じる岩月さん

回帰でもあり、「人を勇気づける存在でありたい」という気持ちを一層強くした。

やがて高校を卒業し、いったん企業に就職したが、胸の奥にくすぶる「冒険への衝動」は消えなかった。日々の安定の中に、どこか物足りなさを感じ始めていた。

そしてある日、心の声に従い、ついに会社を辞める決意をした。

「今行かなければ、一生行けない」——そんな直感に突き動かされていた。

こうして私は、「世界一周・無帰国・3年間の旅」という、自らの人生を賭けた冒険へと歩み出すことになる。

群れには入らず、チャレンジを恐れず、常にギリギリの挑戦を続ける。そんな信念を胸に、私は最初の目的地——ニュージーランドへと向かった。1989年3月、成田空港を出発。

そこから始まる長い旅路の中で、数えきれない出会いと試練、そしてかけがえのない学びが

私を待っていた。

次回からは、その最初の一步となったニュージーランドでの出来事を振り返って、お伝えしたい。



成田空港を出発

(つづく)

# きょうみ 森森

このコーナーは、会員の紹介をいたします。  
 仲間の新たな魅力をお伝えするものです。  
**今回は、梨本 哲 さん (2021年入会)**

思い出に残る映画は、最近観た中では「国宝」です。舞台となった歌舞伎の観客が増えたそうです。以前観た映画では渡辺謙主演の「沈まぬ太陽」、  
 「明日の記憶」です。



在りし日の「あん」

ペットとの思い出は、兔で、名前は「あん」です。私の足音を聞き分け玄関に出迎え、私が寝るまで枕元にいてくれて、私が寝ると自分のケージに戻ります。「あん」は2020年8月天国へ行きました。

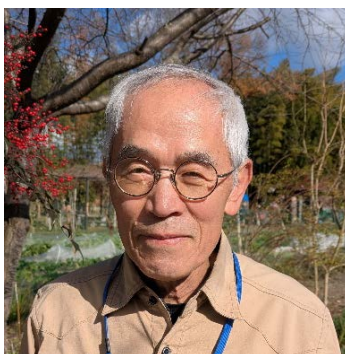
1991年に真珠腫性中耳炎手術。2012年に前立腺ガン全摘手術。2023年に鼠経ヘルニア手術で無事完治でき、担当していただいた全ての医師に心から感謝しています。

好きな言葉は、「継続は力なり」。ランニング25年、水彩スケッチ11年を実践しています。

懐かしい思い出は、小学校の時食べたバタークリームパン。こんな旨いものがあるんだと思いました。

好きな花は、スケッチしやすい花で、バラ、ショウブ系、サザンカ、ユリなどです。

ピンクのばらの花言葉  
 特別な人への愛、感謝、温かい心



梨本さんは、特別な存在であるご家族を大切になさるので、さぞかしペットの兔もよくなつて、幸せだったことでしょう。

社会人になられてからも困難を克服して、目標を達成。大病も乗り越え、感謝の心を持ち続けながらランニングや水彩スケッチを楽しんでおられます。ならやまの仲間の皆さんから「画伯、画伯」と呼ばれた時の笑顔は、花言葉のように、温かい心がこぼれ出ているようでした。

好きなスポーツは、ランニングで2001年から開始。2010年、太陽ヶ丘ジョギングクラブに参加。2010年11月、福知山の初フルマラソンは4時間5分。2013年2月の東京マラソンは3時間42分のベストタイム。今も自宅から片道3.5キロ先の石清水八幡宮へ、練習で往復ランニング参拝を続けています。



梨本さん作 水彩画「バラ」

大切にしていることは、2人の息子家族との食事会や旅行。また妻とは月1回をめぐりにハイキングや旅行をしています。

困難なことを克服したことは、2014年、京都工芸繊維大学工学科学部先端科学技術課程に社会人特別入試で受験、合格し2018年に卒業できたことです。

# 新ならやま投句箱

俳句

冬木立黙して見つめる朝の会

風(タコ)高しガザの平和を祈願して

春淡し蠟梅の香漂いて

足止まるふわり綿雪投票日

名も知らぬ草の芽吹きに土緩み

7年目実生蠟梅ひとつ咲き

ほら貝の聞こゆ境内大根焚

愛犬の行く影長し冬木立

寒の梅一輪咲いて陽の光

百の目がレンジヤク見つめる奈良の朝

陽だまりで何をおしやべり寒雀

凍え手の指しごきつつ冬を越す

風にのりほのかに蠟梅香り来る

八朔や実りの重さ風揺する

川柳

ボケ防止天声人語書写挑む

梅の枝拾って拾って筋肉痛



羽尻 嵩

坪井 郁子

菊川 年明

國方まり子

近藤 結美

小島 武雄

藤原 勲

古川 祐司

寺田 孝

高間 祥子

豊田 浩代

阿部 和生

吉田 英子

山本美智子

みいちちゃん

明るい未来

新ならやま投句箱への投句有難うございます。今後ともよろしくお願ひします。

二度寝より贅沢だよね朝の風呂 ゆつこちゃん

④らかに⑤つこくのあるじ⑥えあふれ トラ吉

音もなく画面をよぎる影絵猫 たけちゃん

物価高ほのぼの市は完売す フランカー

荒れ田畑植えた早苗で見る夢は ノンポリ

走り書き読み取り不明参ったなあ のぶ

指病んで加齢に老化思い知る 草引き名人

朝起きて魔法の言葉よつこらしよ 鎮痛剤

短歌

驚きぬ箆笥の肥やし袖通す

カシミヤの温もり軽やかに 内河 洋文

冬空に雪華降りる舞姿

いつのまにまにあゝ雪化粧 谷川 雅邦

雪まつりしばし忘れん政ごと

北国の一日零下身にしむ 足立 勝洋

霜月も師走睦月も如月も

ならやまの空柿花火かな 清原加代子

ヒユルヒユルと池の氷を滑る石

子どもの声と合唱だ 戸田 博子

次号締め切り 四月二十日 投稿先 田中善英 ands117@nifty.com

やさしい病害虫講座 59  
サンゴジュの病害虫

木村 裕

【サンゴジュハムシ】

4月中旬から5月上旬、新葉が開き終わった頃、その新葉にポツポツと5ミリ前後の小さな孔があく。1枚の葉に10か所を超える穴があくこともあり、葉はみるも無残な状態になる。最近この被害があちらこちらで増えている。



被害部をよく見ると、長さ数ミリ～1センチ、黒い横縞のある淡黄色のナマコ状の虫が何匹も見つかる。サンゴジュハムシの幼虫で、サンゴジュのほか、トサミズキ、ガマズミなどにもよく発生するが、山の中の自然木ではあまり見かけず、もっぱら都市の植木で発生している。

成虫は長さ1センチくらいの暗褐色の甲虫ですが幼虫ほど数は多くなく、お目にかかることは少ないでしょう。

【サンゴジュニセスガ】

春、新葉が展開する頃、新葉が突然しおれて枯れてしまう。多くの新葉がつぎつぎにしおれるので病気？ かと思ったりするが、これはイモムシ（蛾の幼虫）が新芽の中に食いこんで内部を食い荒らしたのが原因です。虫は小さいのでまず見つけるのは難しいでしょう。

花が咲き実ができる頃、実と実の間をクモの巣のように糸が張り渡されていることがありますが、これはこのイモムシが集団生活をしている住処です。



【ハゼアブラムシ】

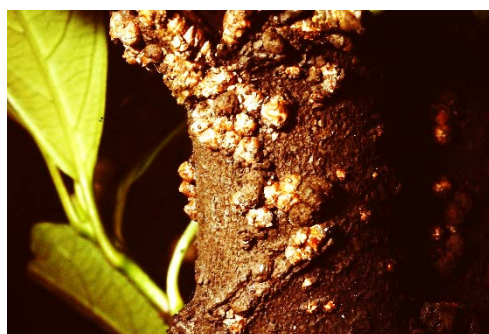
新芽、新葉、すでに展開した葉の裏、花や実にはチョコレート色の小さな虫が数十～数百匹集まって汁を吸う。樹にとっては目に見える被害症状は現れないが、その排泄物（粘液でべたつく）が葉に付着してキラキラと光り、やがて黒いすす病が発生する。



【フジツボカイガラムシ】

太い枝や樹幹に長さ5ミリ前後、暗褐色のシユウマイ型の固い塊がいっぱい付着する。カイガラムシの仲間で集団で樹液を吸っている。樹が枯れることはないが、排泄物にすす病菌が寄生するので、樹幹や葉は黒く汚れる。

排気ガスの多い都会の団地、道路沿いの樹木では、天敵の活動が妨げられるせいで多発しやすい。



仲間入りしました



酒井 為治

昭和40年代から約50年続いた減反政策と米離れの食生活になったことにより耕作放棄地が増え、地方の田畑は荒地になっています。そして日本全国どこでもあった里山風景が少なくなっているように感じます。社会構造の変化でこうなったのですが、とても残念なことです。

里山というのは相当に人の手が入らないと維持できない。里山は自然と人間が織りなす調和物であったことに気付かされます。自然は人の手が入らないと、あっという間にジャングルになって、人間にとって居心地が悪いものになってしまいます。社会が変化しているので仕方がないことかなと思っていました。ところがサイクリングロードを散歩している時に、ならやまプロジェクトの存在を知りました。これは良い活動だと直感しましたが、すぐに入会する決断がつかずに何年かそばを通るだけでした。しかし動ける時間は少ないと気づき、今年の春、思い切って入会しました。皆さまが生き生きと活動され、有意義な時間を過ごされていることに感心しました。自分のできることはほんの僅かですが、少しでもお手伝いできればと思っています。

私的な理由で半年毎、山口県の実家に行ったり戻ったりしているので、欠席することが多くご迷惑かけるかもしれませんが、よろしくお願ひします。



行事案内



4月 月例研修会のご案内

大河ドラマ豊臣兄弟・郡山城跡の花見

富井 忠雄

今年のNHK大河ドラマは「豊臣兄弟」を放送中です。そこで弟秀長の居城であった郡山城の城下を散策し、郡山城跡で花見を楽しんだ後大河ドラマ館など見学したいと思います。

**郡山城跡**：郡山城は、地元の戦国大名筒井順慶の築城に始まり、天正13年(1585)9月、紀伊国、和泉国、大和国合わせて百万石以上の城主として入部した豊臣秀長によって、荒々しい野面積み石垣を持つ大和国最大の城郭が作られました。石垣に寺院の礎石・石仏など多数の転用石材が使われているのが特徴です。天守台から奈良盆地を360度見渡せる素晴らしい眺望が楽しめます。日本さくらの名所100選に選ばれており、春はお城まつりが行われます。

記

- 1, 日 時：4月7日(火) 実施はならやま規定
- 2, 集 合：近鉄郡山駅前 午前10時
- 3, 持 物：弁当、雨具、飲物、敷物
- 4, 会 費：2000円(拝観料、飲物代)
- 5, 申込先：富井忠雄

行 程：近鉄郡山駅—大納言塚—永慶寺—郡山城跡(花見昼食)—追手門—郡山城ホール(大河ドラマ館)—春岳院—紺屋町—柳町—近鉄郡山駅15時頃。行程約4km

幹事：青木(芳)、太田、富井



# 行事案内



## ならやま桜祭り

— 新入会員歓迎会 —

今季の冬は、全国的に厳しい寒さに見舞われ、地球温暖化などの影響が懸念されましたが、一方で、健気にも梅は開花し、春の訪れを知らせています。

今年も『ならやま桜祭り』を開催します。

このお祭りは、本来、新入会員の歓迎を意味しています。今年度の入会者は、3名です。

春の到来と、仲間が増えたことに感謝して、みんなでお祝いをしましょう。たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています。

担当 = 有元、清原(彦)、富江

- 日時 4月2日(木)  
雨天時は3日に延期  
午前11時30分開始
- 内容 お楽しみ会(歌など)
- 昼食 豚汁、飲み物
- 場所 BC付近

※ 午後からは、春のならやま観察会があります。



## ならやま春の自然観察会のご案内

(身近な野草、樹木)

春です、地面の下から草花たちが、元気に芽を出します。いつもの道も、違う視点で見ると意外な出会いがあります。近寄って、虫の目線で見てみましょう。

踏まれているロゼット、石垣の隙間から顔を出す草、色々なスマレ、匂い草あるかな。

春のならやま観察会、お楽しみに!

1. 日時 4月2日(活動日)
2. ならやまBC周辺
3. 13時より1時間程度



野草観察

## 佐保川わいわい桜祭り 2026のご案内

以前から地元自治会のイベントとして参加していましたが、今回も佐保川わいわい桜祭り実行委員会より出店要望があり、昨年同様参加することにいたします。

日時: 3月28日(土) 9時~(雨天中止)

場所: 佐保川小学校運動場

出品内容: 焼そば、玉菫蒟、竹工作など。

出店に当りスタッフ募集をいたします。

皆さんの参加お待ちしております。

◆終了後、佐保川堤防にて花見を行います。

担当: 富井忠雄

幹事 富井、尾崎、青木(芳)



**2026年2月度 幹事会報告**

開催日：1月27日

- I. 会計・総務より
  - ・会員動向:会員数129名(家族会員13名)
  - ・会計:今後の支出予定:エアコンプレッサー、運搬車不具合修理、刈払機修理等
- II. 活動・行事に関する議題・懸案・確認
  - 1. 3ヶ月スケジュール検討・確認
    - ・4/2ならやま桜祭り、新人歓迎会、ならやま観察会
  - 2. ならやまプロジェクト関係
    - ・協働活動:2/5 アダプト、植樹用穴掘り、2/12 コンポスト用落葉集め
    - ・新春講演会参加者(33名)、懇親会(28名)。あり方はいまのまままでよいか?
  - 3. イベント関連
    - ・1/8(木)初出:もち米が足りなかった
    - ・2/21(土)シイタケイベント:助成金対応イベント、スタッフ募集予定
- III. 助成金関係
  - ・進捗状況、申請状況確認
- IV. 特定議題
  - ・幹事改選:推薦状況確認中
  - ・2026年度予算:各Gより2/10迄に提出
  - ・2026年度イベント計画:  
2月幹事会で検討
- V. 広報関係
  - ・会報誌の編成、執筆者の確認
- VI. 報告・連絡事項、その他
  - ・月例研修会:賀名生梅林(3/3)
  - ・自然観察会:1/26(月)佐保川小学校学習支援(4年生36名、2クラスで実施)
  - ・ならコープ交流会(2/11):2名参加
  - ・うみの森ほいくえんから相談:4~5歳児の里山林内散歩の可否について

次回 2/25(水)西部公民館 14:30~



毎週木曜日の昼時間、ならやまBCにずらりと野菜が並ぶ。ある時は葉物野菜が多く、ある時は根菜類が多く、イベントで菌打ちしたシイタケが並ぶことも……。野菜も端境期があるのでいつでも多く並ぶとはかぎらないが、少ない時は工夫して必ず何か並べてある。今までただの一度も「今日は何もありません」と言われたことがない。これはすごいことです。

ある時ピーマンやナスは長期間並べてあるなあ〜と気がついた。ピーマンを栽培してみたくなり図書館で育て方を調べてみると、なんと寒さに弱くなかなか手がかかる作物のようだ。

芽を出させて畑に植え付けるまで2カ月もかかるとのこと。発芽適温は30~32℃、この寒い時期に30℃をキープするのは……。どうするか? 一日中肌身離さず体温を利用して発芽させる方法があると。それではと数日間ずっと腹に巻いてやってみた。数日後、3mmのタネから1mmほどの白い根が出てきた! それからは箱入り娘さながら、寒さから守り丁寧に育て、5月中旬やっと畑に植え付けた。濃緑色・肉厚の立派なピーマンに育った! 7/初~10/末まで収穫できた。タネから芽が出るのは当たり前のように思うが、条件が揃わなければそのまま終わる。小さなタネの不思議、感動体験!

\*\*\*\*\*

**4月ならやま活動&行事予告**

- \*ならやま活動 4/2 協活日・ならやま桜祭り
- 新入会員歓迎会・ならやま観察会
- \*月例研修会 4/7 大和郡山城花見

発行:奈良・人と自然の会  
 URL : <http://www.naranature.com>  
 編集代表 Mail: [editor@naranature.com](mailto:editor@naranature.com)  
 編集委員:青木(幸)・尾崎・柴田・千載  
 田中(善)・戸田

表紙写真:ならやまで育てた野菜が並びました。  
 恵みに感謝し、おいしくいただきます。